

# 「農家の夢と現実」

横山 智大 (25 歳) Uターン  
(宇和島市)



## 1 就農の動機・理由

平成 30 年、民間企業に勤務していた際、祖父、叔父、弟がそれぞれ農業をしていたが、令和 2 年に弟が離農、祖父が高齢となり、作業が回らなくなってきたことから、就農を打診されたが、最初は乗り気ではなかった。

いざ農業を始めてみると、まじめにやるしかない！と決意し、営農を開始した。

## 2 農業経営の概要

### ○経営の展開

項目	就農時の経営 (令和 3 年)	現在の経営 (令和 4 年)	将来の経営 (令和 7 年)
労働力	男 1 人(本人)	男 1 人(本人) パート 2 人	男 1 人(本人) パート 2 人
経営耕地	水田 35 a 畑 5 a	水田 130 a	水田 1,100 a
経営内容	コシヒカリ 30a キュウリ 5a サトモ 5a	あきたこまち 70a コシヒカリ 30a サトモ 30a	あきたこまち 500a コシヒカリ 500a サトモ 100a

### ○農業用施設

倉庫 (貸借) 1 棟

### ○主要農業機械

トラクター (22 馬力)  
コンバイン (2 条刈)  
田植え機 (6 条)  
刈払い機 3 台  
管理機 2 台  
動噴 1 台

## 3 あしあと

### (1) 就農までの主な経歴

出身地 愛媛県松山市

職歴 農機具メーカー

就農研修歴

新潟県農業大学校

(H28. 4~H30. 3)

就農年月 令和 3 年 4 月

### (2) 就農時の思い

急な就農で、計画も立てられずに弟の借りた農地でやることになり、不安だらけだった。どうせやるならまじめに地域の農家とうまく付き合いながらやろうと思った。

## 4 就農時の取り組み

### (1) 技術の習得

農業大学校で学んだこと、地域の農家からのアドバイスから技術を習得しようとした。

### (2) 資金の準備

特に準備していなかった。

### (3) 農地・住宅の確保

祖父の水田、弟の借りた農地、地域の農事組合法人に加入して担当した土地で作付けしている。

住宅は実家に住んでいる。

### (4) その他苦労したこと

農業大学校では、水稻のみの研修で、野菜を栽培した経験がなかった。きゅうりは、叔父に教えてもらいながら栽

培したが、うまくいかず出荷が例年以下だったこともあり、資金繰りに苦労した。

農業機械は、維持費を抑えるため、スクラップ品をもらい、自分でメンテナンスをやっていた。

良いものを作ろうとして、よい資材を手に入れるが、丹精込めて栽培した作物が思った価格にならず、何のために農業をしているかが分からなくなる。

現在は、面積も順調に広げつつあるが、人手不足に悩んでいる。

## 5 農業経営の特徴

水稻・サトイモ中心の経営で、ほぼ土地利用型農業である。

コシヒカリの作付け水田は、食味向上のため、今年から試験的に土壌改良資材を活用した栽培をしている。

## 6 これからの夢

将来は、乾燥、粃摺り、精米まで自分で行いたい。現在、個人で乾燥・粃摺りを行っているベテラン農家のもとで修業している。

害獣駆除に興味があるので、狩猟免許(鉄砲)も取得したい。

## 7 成功したキーポイント

就農してまだ2年目なので、成功と言える体験はまだない。

しかし、栽培に関する試験をする等、工夫をしているため、良い方法が分かったら、それを継続して、品質向上につなげていきたい。

また、前職の経験を活かして、地域農家の農業機械のメンテナンス、修理等を請け負っており、今後も地域に貢献していきたいと考えている。

## 8 就農を目指す方へのアドバイス

水稻を栽培する場合、1番高額な出費は機械の維持費となります。なので、修理方法、メンテナンス、機械に関する情報を得ることが出来るので、農機具メーカーに就職して5年程度技術を学んでも良いと思います。

他にも、地域の農家さんに関わりを持つことで、栽培技術も習得できるうえ、空き農地等の情報を紹介してもらえたりするので、地域活動には積極的に参加を勧めます。

### ○ 指導機関からのひとこと

横山さんは前職の経験から、農業機械に関する知識、修理・メンテナンス技術が優れており、地域農家からの請負等も行っている他、地域の先輩農家の元で積極的に勉強も行っているため、栽培管理技術においても力を伸ばしているところです。

今後も地域の期待の若手農業者として活躍されることを期待しています。

### 執筆機関

南予地方局農業振興課地域農業育成室  
電話番号 0895-28-6117



サトイモの掘り取り作業